

Princeton

コードレスハンズフリーイヤフォン

PTM-BEM6 ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

・ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。

・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

ご使用になる前に

●一部都道府県によっては、条例によりハンズフリーの使用が制限されている場合があります。

●運転中の携帯電話等の使用はおやめください。

▲本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

●ご使用の携帯電話機によっては、通話中にエコー現象（通話相手に自分の声が少し遅れて聞こえる現象）が発生する場合があります。このような場合、電話機の音量を下げてみてください。ご使用の電話機によっては、解消されない場合がございます。予めご了承ください。

●通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

仕 様	
型番	PTM-BEM6
適合規格	Bluetooth® Version2.1 + EDR
周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz
通信距離	約10m（環境によって異なります）
電 源	内蔵リチウムポリマーバッテリー
連続通話時間	最大約4時間
連続待受時間	最大約170時間（未ペアリング状態）
対応プロファイル	ヘッドセット・ハンズフリー・アドバンストオーディオディストリビューション・オーディオビデオリモートコントロール（HSP・HFP・A2DP・AVRCP）
動作温度	0℃～45℃
動作湿度	10～70％（結露なきこと）
動作環境	通信規格Bluetooth®を搭載した携帯電話機
外形寸法(mm)	(W) 18.1 × (D) 51.3 × (H) 9.5
質量	約10g

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。

URL <http://www.princeton.co.jp/>

ユーザー登録について

弊社ホームページにて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」
<http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html>

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。

※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

保証規定について

付属保証書をご参照ください。

なお、保証書の再発行はできませんのであらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせについて

テクニカルサポート

電話：03-6670-6848

受付：月曜日～金曜日の 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

Webからのお問い合わせ

<http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html>

プリンストンテクノロジー株式会社

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

本書の著作権はプリンストンテクノロジー株式会社にあります。

本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。

本書では TM ® は明記していません。

本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

Bluetooth ® は、その商標権者が所有しており、プリンストンテクノロジー株式会社はライセンスに基づき使用しています。

2010年 7月 第1版 Printed in China

Copyright ©2010 Princeton Technology,Ltd.

付属品の確認

本製品のパッケージの内容は、次のとおりです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

イヤフォン本体

ACアダプタ

イヤークリップ

イヤピースS/M/L（Mサイズは本体に取り付け済み）

ユーザーズガイド

保証書

1

1

2

3

各部の主な名称

電源スイッチ

電源ON／OFF

電源ON

電源OFF

マルチファンクションボタン

・着信に応答

・通話を終了

・ペアリング

・リダイヤル

LED

※点灯状態については、裏面を参照してください。

+ ボタン

HFP/A2DP：音量を上げる

A2DP：再生／一時停止／早送り

- ボタン

HFP/A2DP：音量を下げる

A2DP：停止／巻き戻し

充電用コネクタ

イヤフォン

マイク

本製品の詳しい使用方法については、裏面をお読みください。

安全上のご注意

●本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

●本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

●本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要となきすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。

●本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

●その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

⚠ 警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味

⚠ 注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）

🚫 行為を禁止する記号（🚫の中や近くに禁止内容が描かれています。）

👉 行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

⚠ 危険

● 運転中の携帯電話等の使用はおやめください。運転中の携帯電話および本製品を操作は交通事故の原因になります。本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

● 航空機の運行の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内では電源を切り、機内では使用しないでください。

⚠ 警告

❗ 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったら販売店に修理を依頼してください。

❗ 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。

🚫 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。

🚫 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。

🚫 雷鳴が聞こえたら、ACアダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。

🚫 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属のACアダプタ（AC100V）以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。

🚫 電源の接続は必ず同梱のACアダプタをご使用ください。同梱のACアダプタを使用せずに、直接電源コンセントや自動車のシガーライター差込口に接続しないでください。感電したり高い電圧が加えられることによって、過大な電流が流れ、内蔵されている電池から漏液、発熱、発火または破損する原因となります。

❗ 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。

使用上のご注意

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。

●電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など

●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などはBluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

本製品の電池について

●長時間（2時間以上）の充電はしないでください。

●電池には寿命があります。使用状態によって異なりますが、約400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。

●電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

本製品の特長

●騒がしい場所で使用しても相手にしっかりと声が伝わる

1.デュアルマイク搭載
Two Mic Beamforming技術により、話し声をしっかりとキャッチ。

2.ノイズリダクション機能
マイクで拾ってしまった余計な音をカットし話し声をクリアに。

3.エコーキャンセリル機能
イヤフォンから聞こえる自分の声をマイクが拾ってエコーがかかることを緩和。

●ワンセグ、音楽が再生できる

著作権保護技術SCMS-Tに対応しているのでハンズフリーだけでなく、ワンセグや音楽も聞くことができます。さらにリモコン機能により曲のスキップや一時停止も可能です。※1

●マルチペアリング対応

本体に最大8台までのペアリング情報を登録することが可能。何度もペアリングをしなおす必要がありません。※2

●スライドスイッチ式電源

電源のON/OFFがスライドスイッチ式になっているので、ON/OFF操作が簡単に行えます。必要ないときにすぐ電源OFFできるので余計な電池消耗を抑えます。

●しっかり装着できるイヤークリップ付属

イヤークリップを使用すればしっかりと装着可能。不意に動いて落としてしまうことを防止します。

※1:対応携帯電話により異なります。音声はモノラル(左チャンネル)となります。
※2:同時に接続できるのは1台のみです。

イヤフォンの充電方法

❗ 工場出荷時のバッテリーは完全充電されていません。初めてお使いになるときは必ずLEDが消灯するまで充電してください。

●長時間充電をしたまま放置しないでください。

充電時のLED表示

赤色LED点灯＝充電中

LED消灯＝充電完了

残量0～完全充電まで

約2時間

電池残量が少ない場合

イヤフォンの電池残量が少ない場合、LEDが赤色の点滅に変わり、イヤフォンからビピビピと鳴ります。速やかに充電してください。

完全充電する際のご注意

充電電池を長時間持ちたせるためにLEDが消灯したら、充電を終了してください。

完全充電時の使用時間

※使用状況により異なります。

通話時間

音楽再生時間

合計最大約4時間

待受時間

最大約170時間

付属のACアダプタを使用して充電します。

充電を開始すると、LEDが点灯します。

❗ コネクタの向きにご注意ください。

充電を開始すると、LEDが赤色に点灯します。

充電は必ず付属のACアダプタを使用してください。

本製品の詳しい使用方法については、裏面をお読みください。

●本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリーなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。

●本製品を分解、改造しないでください。本製品や携帯電話の火災、感電、破損の原因になります。

●熱器具の近くや直射日光のあるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。

❗ 電源ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用続けると、感電、火災の原因になります。

●電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。

●電源ケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。

●電源ケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに置かないでください。倒れて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

⚠ 注意

●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。

●窓を閉め切った自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光が当たるところや、エアコンの吹き出し口など異常な温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になります。

❗ 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからACアダプタを抜けるようにしてください。

●充電完了後に、長時間ACアダプタをコンセントに接続したままにしないでください。（2時間以上の充電はしないでください）

❗ 充電は必ず室内で行ってください。

❗ お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

●濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

❗ ACアダプタや充電ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

❗ お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

●自動車内で使用した場合、車種によりまれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、そのような場合は使用しないでください。

●本製品や携帯電話のコネクタ部分を、むやみに指で触れたり金属を接触させたり水気や埃を付着させないようにご注意ください。接触不良や静電気により、本製品および携帯電話の故障や感電の原因になります。

●本製品に動作対応している携帯電話機以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

良好な通信のために

●他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。

●電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。

●無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。

●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。他のBluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について

●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth® 機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

●テレビ/ラジオなどはBluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth® 製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth®製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

●本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用する木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

●携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能もありますので、ご留意ください。

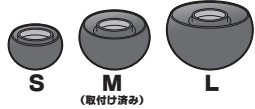
アクセサリ（付属品）について

●ACアダプタ、イヤークリップ、イヤピースは保証の対象になりません。

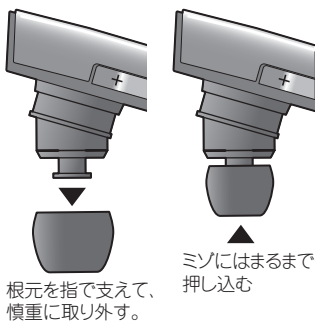
車を運転中に携帯電話の操作は道路交通法により禁止されております。

イヤパッドの交換

付属の3種類のイヤパッドと交換することが可能です。(Mサイズは取り付け済み)
通話をより快適にするため、ご自身にあったサイズに交換してご使用ください。



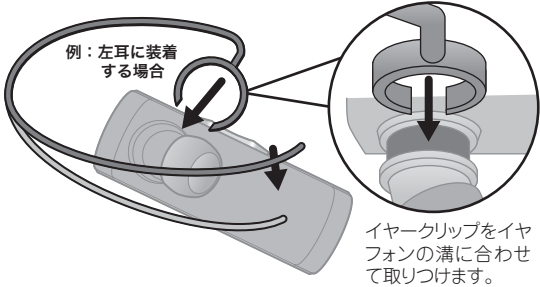
耳から外れやすい場合
イヤフォンが取れやすい場合は、イヤークリップを使用してください。



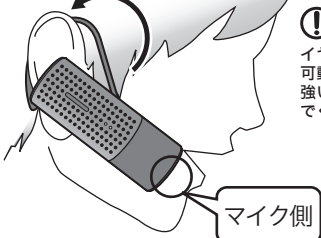
イヤークリップの使い方
イヤークリップを併用すると、しっかりと耳に装着することができます。
イヤークリップは、左右どちらの耳にも装着できるように、取り付けることができます。

- ・イヤークリップを使用しないでも装着することは可能ですが、脱落しやすくなります。
- ・イヤークリップは脱落を完全に防ぐものではありません。

イヤフォンを耳に装着する



マイク部分を口の方向に向けて耳に装着後、イヤークリップを耳にかけます。

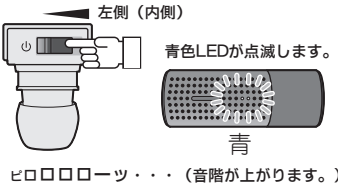


！
イヤークリップを可動させる際に、強い力を加えないでください。

イヤフォンの基本操作

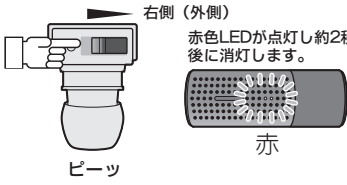
電源を入れる

電源スイッチを左側にスライドします。



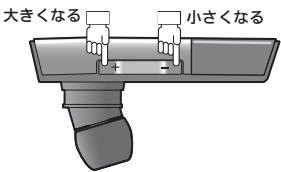
電源を切る

電源スイッチを右側にスライドします。



ボリュームの調整

ボタンを短く1度押すごとに、音量が大きく(小さく)なります。(通話中・音楽再生中のみ有効)

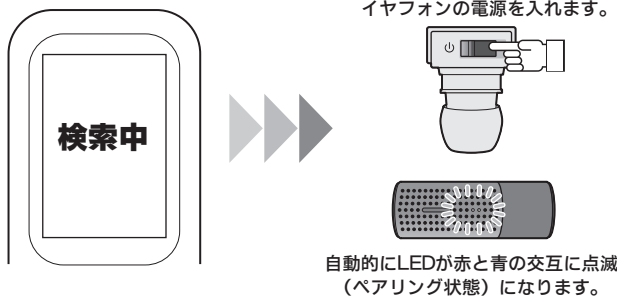


ハンズフリーの登録

手順1 機器の検索 (初めて本製品を使用する場合)

！ 機器の設定を行うときは、携帯電話の取扱説明書もご用意ください。

ご利用の携帯電話で、Bluetooth機器の登録を行います。
携帯電話の取扱説明書に従って、「Bluetooth機器の検索」を行ってください。
携帯電話がBluetooth機器の検索を開始したら、イヤフォンの電源を入れます。
自動的にLEDが赤と青の交互に点滅(ペアリング状態)になります。
本体にBluetooth機器の接続情報がない場合のみ自動的にペアリング状態になります。
新たに別の機器とペアリングする場合や、ペアリング状態にならなかった場合は、「手動でペアリングを開始する」の項目をご確認ください。



手順2 イヤフォンの登録

イヤフォンが検出されると、携帯電話にイヤフォンの機器名「PTM-BEM6」と表示されます。
「PTM-BEM6」を選択して、登録を行ってください。

！ 携帯電話の機種によっては、登録開始時に携帯電話の暗証番号入力が必要な場合があります。

パスキーの入力画面が表示されたら、イヤフォンのパスキーを入力します。

パスキー「0000」
ゼロを4つ

携帯電話の指示に従って、登録を完了してください。
正しく登録され、通信が確立すると青色のLEDが2回点滅を繰り返します。

！ 携帯電話の機種によっては、機器の種類を選択する必要があります。
本製品は、「ハンズフリー」として登録してください。
ハンズフリー以外で登録した場合、本製品が正常に動作しない場合があります。

☐ ハンズフリー
☒ ヘッドセット

Point

ワンセグなどを聞く場合は、オーディオ(A2DP)に接続してください。
携帯電話によっては、自動的に接続されます。ハンズフリー(HFP)とオーディオ(A2DP)の両方に接続している状態で着信があった場合の動作は、携帯電話の機種により異なります。事前にお試しいただくことをお勧めします。

接続が確立したら

イヤフォンと携帯電話の接続が確立したら、青色のLEDが2回連続点滅を繰り返します。

Point

接続している携帯電話などとの接続が途切れるとブブブ…とトーンが鳴ります。
再度、接続されるとボンボンボンとトーンが鳴ります。
誤操作を防ぐため、使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

！ 長時間使用しないときは、電源をOFFにすることをお勧めします。

電話を受ける～終了する

接続が確立している状態で携帯電話の呼び出しがあるとイヤフォンから音が鳴ります。
マルチファンクションボタンを押すと、通話を開始します。



電話をかける～終了する

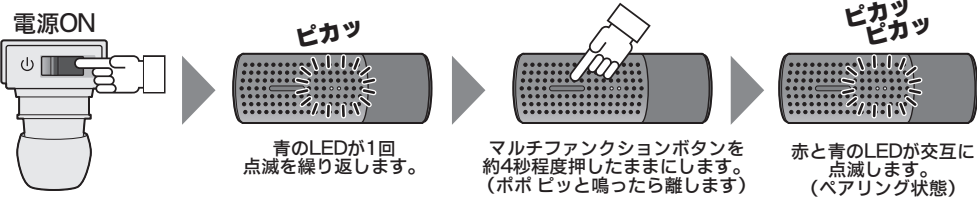
イヤフォンの電源をONにして、携帯電話と接続を確立します。

通常の携帯電話と同様に電話をかけると、相手に電話が繋がると、そのままイヤフォンで通話できます。

携帯電話で通話している状態で、イヤフォンで通話できない場合は、ダイヤルした後にBluetoothハンズフリーに通話を切り替えます。
切り替え方法は携帯電話の機種により異なりますので、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

手動でペアリングを開始する

新しいBluetooth機器とペアリングする場合は、下記の手順でペアリング状態にして再度、ペアリングを行ってください。
ペアリング操作は、他の機器と接続していない状態で行ってください。



新たに接続したい機器をペアリング状態にします。
以降の手順は、手順2「イヤフォンの登録」と同様です。

ペアリング済みの機器を使用する (接続を確立する場合)

一度ペアリングした機器は、再度ペアリングする必要はありません。

イヤフォンの電源をオンにします。▶ 携帯電話でイヤフォンに接続操作をします。▶ 「ボンボンボン」と鳴り、接続が確立します。
※接続操作は携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

Point

■接続が確立しない場合
携帯電話のBluetooth設定を確認の上、本製品の電源を入れ直します。

音楽を聴く

音楽の再生中は、イヤフォンをリモコンとして使用することができます。
音楽を聴いている途中で、電話の呼び出しがあった場合は、電話を受けることが可能で、通話中は音楽の再生が自動的に止まります。
通話終了後、音楽の再生を再開します。

■音楽再生時の操作

再生・一時停止 [+] ボタンを4秒押して、2回目に「ピッ」と鳴ったら離します。
再開する場合は、再度同じ操作を行います。停止した位置から再生を再開します。

停止 再生中に[-] ボタンを4秒押して、2回目に「ピッ」と鳴ったら離します。

次の曲へスキップ 再生中に[+] ボタンを2秒押して、「ピッ」と鳴ったら離します。

前の曲へスキップ 再生中に[-] ボタンを2秒押して、「ピッ」と鳴ったら離します。
音楽再生中に操作すると、曲の先頭に戻ります。
※正しく動作しない場合は、音楽を一時停止してから操作してください。

通話を受ける 呼び出し音が鳴ったら、マルチファンクションボタンを押します。

！ ご利用の携帯電話の機種や対応するプロファイルにより、一部の操作が使用できない場合があります。
携帯電話の機種によっては動作が異なる場合があります。詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。

便利な操作

！ 以下の操作は、ご利用の携帯電話の機種により使用できない場合があります。
使用する前に、実際に試してからご利用ください。

ミュート

通話中に、[-] ボタン(音量ボタン)を2秒押して、「ピッ」と鳴ったら離します。操作が正しく行われると、離れた時に「ビポッ」と鳴り、こちら側の音声ミュートすることができます。

ミュート中は、約5秒間隔で「ピッ」と鳴ります。

ミュートを解除するには、再度[-] ボタン(音量ボタン)を2秒押します。



！ [-] ボタンを押し続けると正しく操作が行われません。事前にお試しいただいてから利用することをお勧めします。

リダイヤル

接続確立中に、[マルチファンクション] ボタンを1回押すと、直前にかけた番号をリダイヤルします。

！ [マルチファンクション] ボタンを押し続けるとペアリング状態になります。ご注意ください。



着信拒否

呼び出し中に、[マルチファンクション] ボタンを2秒押して、「ピッ・・・ビポッ」と鳴ったら離すと、着信を拒否することができます。

！ [マルチファンクション] ボタンを押し続けると正しく動作しません。一度、ボタンを離して再度、操作を行ってください。



主な操作／LED表示一覧

動作	操作/トーン	LED表示
電源ON	スライドボタンを左にスライド (ピロロロ 音階UP)	青色3回点滅→電源ON
電源OFF	スライドボタンを右にスライド (ビーツ)	赤色点灯→消灯
ペアリング	出荷時→電源オンで自動的にペアリング開始 手動でペアリング→マルチファンクションボタンを4秒押す(ボボビツ)→指を離す	青と赤が交互に点滅
通信未確立	—	青色1回点滅 繰り返し
通信確立	電源オンで通信確立	青色2回点滅 繰り返し
呼び出し	着信音 (携帯電話の機種により音が異なります)	青色2回点滅 繰り返し
応答	呼び出し中にマルチファンクションボタン押す	—
通話中	—	青色3回点滅 繰り返し
ミュート	通話中に「-」ボタンを2秒押す(ビツ)→指を離す	—
電池残量警告	ビビビビ・・・ (約30秒間隔)	赤色点滅
充電時 (100%)	充電中	消灯
充電時 (100%未満)	充電中	赤色点灯
リダイヤル	接続確立時→マルチファンクションボタンを1回押す	—
着信拒否	呼び出し時→マルチファンクションボタン2秒押す(ビツ・・・ビポツ)→指を離す	—
再生・一時停止	A2DP 接続確立時→「+」ボタンを4秒押す(ビツ・・・ビツ)→指を離す	—
停止	音楽再生時→「-」ボタンを4秒押す(ビツ・・・ビツ)→指を離す	—
次の曲にスキップ	音楽再生時→「+」ボタンを2秒押す(ビツ)→指を離す	—
前の曲にスキップ	音楽再生時→「-」ボタンを2秒押す(ビツ)→指を離す	—

製品に関するFAQは、下記弊社ホームページご参照ください。
<http://www.princeton.co.jp/support/top.html>